

2021年度 研究助成「地域文化活動の継承と発展を考える」

申請要項

公益財団法人サントリー文化財団

日本の各地では、地域に暮らす人々によって力強く育まれてきた文化活動が多彩に展開されています。こうした地域文化活動のなかには、携わる人々のみならず、地域全体を生き活きとさせる力を持つものも数多く存在しており、それらは日本を元気にする原動力ともなっています。

当財団では、そうした地域文化活動に対して、1979年の財団設立当初から「サントリー地域文化賞」を贈呈し、顕彰してきました。この貴重な日本の地域文化活動を引継ぎ、さらなる発展を遂げられるように、現場に寄り添った、具体的で実践的な研究をお待ちしています。

1.助成の目的

本助成は、日本の地域文化活動の継承と発展に寄与する研究の振興を目的としています。

＜研究対象となる「地域文化活動」とは＞

芸術や伝統文化だけではなく、地域住民を巻き込んだ文化イベントや文化を核としたまちづくり・国際交流など、地域に暮らす人々の心を生き活きと豊かにする活動を対象とします。純粋な営利活動、観光目的事業（地域活性化、まちおこし等）、行政が単独で行う文化イベント、文化施設運営は対象としません。

研究対象とする活動の規模、人数は問いませんが、地域に暮らす人々自らが文化の担い手であること、開始から3年以上経過している活動であることを条件とします。研究対象として実験的に立ち上げる文化活動は対象としません。

2.求める研究のすがた

- (1) 研究対象の地域文化活動の現状や課題を分析し、課題解決の道を積極的に探り、その成果を具体的に地域文化活動に還元しようとする研究を求めます。
- (2) 異なる研究分野を専門とする研究メンバーによる学際的研究、および異なる地域の地域文化活動実践者による地域間交流を促進する研究など、新たな手法やチャレンジのあるものを歓迎します。
- (3) 特定の地域の一活動だけではなく、複数の活動に共通する課題や成功・失敗の要因に関する研究も対象とします。ただし、その成果をどのように地域に還元するかを明記してください。
- (4) 申請代表者、研究メンバーの国籍、所属、年齢は問いません。地域文化活動の実践者による研究、大学等に所属の研究者による研究、両者の共同研究のいずれも申請可能です。ただし、複数のメンバーで議論を深める研究が助成対象であり、研究対象である「地域文化活動」が複数人であるだけの個人研究は助成の対象外とします。
- (5) 既に始めている研究、新たに着手する研究どちらも申請可能です。

- (6) 申請代表者は書類作成、中間報告会での学際的な議論への参加が可能な日本語能力を持つことを条件とします。
- (7) 本プログラムは以下のような、研究成果を地域文化活動へ具体的に還元する〈課題解決型〉のグループ研究を高く評価します。地域に関するテーマであっても、課題解決を目的としない研究は、プログラムの趣旨をご確認の上、研究助成「学問の未来を拓く」への申請をご検討ください。

◆研究内容例

- ・住民参加型の音楽祭の比較研究
- ・伝統芸能におけるクラウド・ファンディングや SNS 活用に関する研究
- ・ある地域で生まれた文化活動の他地域への伝播についての研究
- ・地域文化活動の外部評価に関する研究

◆対象外の研究

- ・シンポジウムや出版等の成果発表のみを目的とするもの
- ・郷土史や地域学など地域社会や歴史、生活文化一般に関する研究で、活動を対象としていないもの

3.助成金額および助成対象期間

- (1) 年間の助成件数および各々の助成金額は、選考委員会において決定します。一件ごとの助成金額は、研究内容によって異なり、50 万円から 300 万円の範囲とします(1 万円未満は切捨て)。申請額の満額支給とは限らないので、あらかじめご了承ください。

※2020 年度は応募総数 73 件のうち、5 件に対し総額 500 万円の助成を行いました。

- (2) 助成対象期間は 2021 年 8 月 1 日から 2022 年 7 月 31 日までの 1 年間とします。
- (3) 助成金は「円貨」にて決定し、「日本円」で振込みます。
- (4) 同一期間内の他機関への併願は可能です。ただし、当財団研究助成「学問の未来を拓く」への併願はできません。

4.助成金の使途費目

- (1) 助成金の使途は、研究目的を達成するために必要な費目とします。
- (2) 申請代表者や研究メンバーが所属する組織の間接経費、一般管理費等は助成の対象としません。

◆対象外の使途

- ・研究対象となる地域文化活動の本来活動の事業費・人件費
- ・申請研究に関係しない備品や資料購入費

5.継続助成

2020 年度採択グループで継続を希望する場合は、継続申請用の書式にて申請書を提出してください。
選考委員会において、改めて審査します。

6.選考方法

選考は選考委員会において所定の申請書類のみにて行い、理事会で決定します。それ以外の「参考資料」を提出いただいた場合、選考の対象外になります。

7.申請方法

- (1) 申請締切 2021年4月8日(木)23:59
- (2) 申請方法 当財団ホームページ内、研究助成ページ(<https://www.suntory.co.jp/sfnd/research/>)よりご申請ください。 ※次ページ以降の注意事項を必ずご確認ください。

8.助成の決定

2021年7月を予定しています。選考結果は、申請時に登録されたメールアドレスにお送りします。

9.助成金の交付

助成金は2021年8月に全額を交付します。助成金の振込みは、「円口座」以外にはできませんので、ご注意ください。

10.研究経過等の報告

- (1) 助成対象研究については、2022年1～2月に研究状況の中間報告を口頭で行っていただく予定です(大阪市内の当財団事務所を予定)。助成プログラムの一環として行うものですので、必ずご出席ください。
※状況によって対面での開催が難しい場合は、方法等を変更する場合がございます。
- (2) 研究成果の発表にあたっては、報告書、成果発表会等いずれの場合にもしかなるべき箇所にサントリー文化財団の助成を受けた研究である旨を明記してください。

11.報告書の提出

助成期間終了後に、当財団指定のフォーマットにて成果報告と収支報告を提出していただきます。成果報告は当財団HPにて公開します。

12.個人情報の取り扱い

助成決定後、当財団ホームページ、広報リリース、内閣府に提出する書類へ以下の情報を公開します。

- (1)助成対象者の氏名
- (2)申請時の所属機関、役職名
- (3)研究テーマ

申請フォーム、申請書にご記入いただいた個人情報は、選考及び選考結果の通知のために使用するもので、個人情報保護法および関連する法令・規範にもとづき、厳重に管理します。上記以外には、ご本人の同意がある場合または正当な理由がある場合を除き、第三者に開示または提供しません。

<お問い合わせ先>

公益財団法人サントリー文化財団 研究助成「地域文化活動の継承と発展を考える」係
〒530-8204 大阪市北区堂島 2-1-5 サントリーアネックス 9階
TEL 06(6342)6221 【受付時間】 平日 10:00～17:00
メールアドレス sfnd@suntory-foundation.or.jp

以 上

2021年度 研究助成「地域文化活動の継承と発展を考える」 申請フォーム・申請書記入上の注意事項

当財団 HP に記載の申請手順と本注意事項をご確認の上、申請をお願いいたします。

■ マイページ登録～ログイン

申請手順ページの STEP.1～2 に沿って、申請用のマイページを取得してください。

➤ 申請手順ページ https://grants.suntory-foundation.or.jp/login/about_app.html

■ 助成申請受付フォームへの入力

マイページにログイン後、「Information」もしくは「助成申請受付」から、研究助成「地域文化活動の継承と発展を考える」を選択し、フォームに必要事項を入力してください。

➤ マイページ <https://grants.suntory-foundation.or.jp/login/>

<「費用明細」の記入について>

- ・ 下記【費目例】を参照の上、内容(80文字、4行以内)と金額を「明細」欄にご記入ください。
- ・ 「金額」欄の数字は、小数点以下を切り捨てて半角で入力してください。
- ・ 所属機関の研究費や他機関からの助成、自己資金の使用を予定する場合は、「他資金」欄に金額をご記入ください。(※研究規模の把握が目的で、選考には直接関係ありません)

【費目例】

| | |
|-----------------|--|
| 会議費 | 会議会場の使用料、速記・翻訳代、茶菓代など |
| 謝金 | 講師、インタビュー対象者等への謝金 |
| 飲食費 | レセプション、懇親会などの飲食費(酒類を含む) |
| 旅費 | 会議出席・調査のための交通費・宿泊費 <u>※助成対象研究の進捗について報告義務を設けていますので、その際の1名分の大阪への旅費も含めてください。</u> |
| 資料費・ 印刷費・複写費 | 研究に必要な図書・論文等の購入費 資料、調査票などの印刷・複写費、研究成果発表の印刷費 |
| その他 | 上記以外で、研究に不可欠のものがあれば具体的にご記入ください。 |

【記入例】

| 費目 | 当財団助成金(申請年度の費用のみ記入してください) | | 他資金 |
|-----------------|---|-------|------|
| | 明細 | 金額 | |
| 会議費 | インタビューのための会場費 5千円×10回 | 5万円 | |
| 謝金 | インタビュー対象者謝金 1万円×10名 | 10万円 | |
| 飲食費 | 研究会後の懇親会費 5千円×8名×10回 | 40万円 | 10万円 |
| 旅費 | 北海道調査費(東京-北海道、3泊)10万円×6名、 中間報告会参加にかかる費用(東京-大阪、1泊)4万円 | 64万円 | 20万円 |
| 資料費・ 印刷費・複写費 | 書籍購入代 6万円、資料複写費 5万円 | 11万円 | |
| その他 | インタビューに必要なオンライン設備費 | 5万円 | |
| 合計 | | 135万円 | 30万円 |

本プログラムへの申請金額
(50～300万円)

■ 申請書のダウンロード・記入について

作成いただく申請書は当財団指定のフォーマット(word ファイル、2 ページ)を用いてください。フォーマットは、当財団の研究助成ページよりダウンロードできます。

➤ 研究助成ページ <https://www.suntory.co.jp/sfnd/research/>

<申請書記入上の注意>

- ・ 必要事項を申請書に漏れなく記入し、必要書類以外の資料は追加しないでください。別紙参照などを用いた申請、申請書フォーマットやページ数の変更があった場合、選考の対象外となります。ページ内に収まる範囲であれば、各項目の記入枠の大きさの調整は可とします。
- ・ 申請書(word)のレイアウトが崩れる場合は、研究助成ページに掲載の見本(pdf)を参考に、レイアウトをご修正ください。
- ・ 申請書はすべて日本語でご記入ください。ただし、海外で発表した論文・書籍のタイトル、海外で行われた学会名等は英語表記を可とします。

■ 申請書のアップロード

- ・ 記入が完了した word ファイルを pdf に変換し、ファイルアップロード欄よりご提出ください。
※ 申請書の各項目の記入枠がページ内に収まっているか、アップロード前にご確認ください。
- ・ 「参照」ボタンを押し、該当ファイルを選択してから右側の「提出書類アップロード」ボタンを押してください。ウイルスチェック後、「戻る」をクリックし、「提出済」の文字が表示されていれば、正常にアップロードが完了しています。

■ 申請の完了

- ・ 全ての必要事項を入力し、申請書のアップロードができましたら、「申請する」ボタンを押して申請内容を送信してください。申請完了後に、記入内容を修正することはできませんので、送信前に必ず内容をご確認ください。
- ・ 申請が完了しましたら、登録されたメールアドレスに受付確認のメールが届きます。このメールは選考結果の通知まで保管してください。

■ その他

- ・ 電子メール、郵送、FAX、ご持参による申請は受け付けていません。
- ・ 送信した申請書のデータは、選考結果の通知までご自身で保管をお願いいたします。
- ・ 申請締め切り(4月8日(木)23:59)の直前は、アクセスが集中し送信できない可能性があります。余裕をもってご申請ください。

以上